

利小鬼中スタンダード

～何を学ぶか・どのように学ぶか・何ができるようになるか～

- 授業前
- ・休み時間のうちに、次の授業の準備をする。
 - ・時間までに椅子に座って気持ちを落ち着ける。
 - ・時間通り始める。
 - ・正しい姿勢で挨拶をする。

①前時の内容を復習する(学習状況の把握)

- ・前時の学習内容を確認したり反復したりして、学習内容の定着を図る。
- ・教員からの発問、あるいは、子ども同士で確認する。
- ・小テスト等を実施し、学習状況を把握する。

②課題(めあて)、動機付け ※青で囲む

- ・児童生徒が何を学ぶのか、なぜ学ぶのかなど、見通しをもてるようにする。
- ・問題文を正確に読み取らせる
- ・課題を明確にし、教員と児童生徒と共通認識、授業のゴールを見通す。
- ・解決の見通しを全体で確認して、解決の見通しをもつ。

③個人思考

- 「一人でじっくり考える」時間を十分に確保する。
- 自分の考えを、タブレットやノート、ワークシートに書かせる。

④対話的な学びの設定

- ・他者の考えに触れる時間を確保する。
- ・生徒同士や教師と生徒の対話を設定し、自分と他者の意見や考え方を比較したり、自分だけでは気づくことが難しい気づきを得たりして考えを広げたり深めたりできるようにする。
- ・他者がいない場合は、教師から異なる考えを掲示して交流する。

⑤振り返り ※まとめはピンクで囲む

- ・学びの成果を実感させ、自己の変容に気づかせる。
- ・「わかったこと」「できたこと」を実感できる振り返りをする。

- ・時間通りに終わる。